

はじめに

住み慣れた地域で暮らし続けるために、地域生活を支える小さな拠点づくり・地域運営組織の取組が注目されています。

地域で小さな拠点づくり等の取組を進めるにあたっては、まず、地域住民が主体となって、地域の現状と課題や、地域の将来ビジョンについて話し合うきっかけづくりが重要です。そのため、内閣府においては、平成28年度に、小さな拠点や地域運営組織の形成に関する基礎知識の普及や地域の課題整理に向けて、様々な市町村や地域にアドバイザーを派遣し、アドバイザーによる研修会の実施を通じて、地域住民に対する研修方法について検討を進めました。

本書は、このアドバイザー派遣を通じて見えてきた、自治体職員が中心となって地域住民に普及啓発を図る際に必要となる基本的な姿勢や浸透を図るためのテクニックなどに関し、研修用テキストとしてとりまとめたものです。

特に、自治体の担当職員にお読みいただき、地域住民への普及啓発に向けたヒントとしてご活用いただきたく思います。

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局

内閣府地方創生推進事務局

【アドバイザー派遣地区一覧、及び各地に派遣されたアドバイザー】

■ アドバイザー派遣地区一覧（全 34 回：平成 29 年 1 月～3 月）

No.	自治体名・地区名	研修開催日	自治体	住民等	外部	参加者合計
1	愛知県南知多町篠島地区	平成 29 年 1 月 28 日	2 名	10 名	0 名	12 名
2	新潟県村上市館腰地区	平成 29 年 2 月 1 日	1 名	10 名	0 名	11 名
3	長崎県壱岐市初山地区	平成 29 年 2 月 4 日	7 名	2 名	10 名	19 名
4	新潟県村上市三面地区	平成 29 年 2 月 15 日	1 名	22 名	0 名	23 名
5	佐賀県小城市	平成 29 年 2 月 21 日	9 名	22 名	9 名	40 名
6	山形県山形市南沼原地区	平成 29 年 2 月 24 日	2 名	27 名	16 名	45 名
7	宮城県丸森町筆甫地区	平成 29 年 2 月 26 日	5 名	46 名	17 名	68 名
8	宮城県南部（集合研修）	平成 29 年 2 月 26 日	18 名	39 名	2 名	59 名
9	新潟県村上市大毎地区	平成 29 年 2 月 26 日	4 名	45 名	0 名	49 名
10	新潟県柏崎市北条地区	平成 29 年 3 月 1 日	1 名	13 名	0 名	14 名
11	秋田県横手市山内南地区	平成 29 年 3 月 3 日	2 名	23 名	0 名	25 名
12	北海道富良野市東山地区	平成 29 年 3 月 4 日	1 名	20 名	0 名	21 名
13	岐阜県関市下有知地区	平成 29 年 3 月 5 日	0 名	78 名	0 名	78 名
14	宮城県仙南地区（集合研修）	平成 29 年 3 月 6 日	1 名	1 名	8 名	10 名
15	秋田県羽後町仙道地区	平成 29 年 3 月 6 日	1 名	17 名	0 名	18 名
16	新潟県村上市長津地区	平成 29 年 3 月 6 日	2 名	24 名	0 名	26 名
17	岐阜県揖斐川町小島地区	平成 29 年 3 月 8 日	8 名	35 名	0 名	43 名
18	岐阜県下呂市金山町地域	平成 29 年 3 月 8 日	6 名	49 名	0 名	55 名
19	新潟県妙高市瑞穂地区	平成 29 年 3 月 13 日	2 名	12 名	0 名	14 名
20	山形県山形市滝山地区	平成 29 年 3 月 16 日	0 名	17 名	6 名	23 名
21	神奈川県平塚市	平成 29 年 3 月 16 日	1 名	23 名	0 名	24 名
22	奈良県吉野町国栖地区	平成 29 年 3 月 16 日	6 名	32 名	0 名	38 名
23	岐阜県関市倉知地区	平成 29 年 3 月 17 日	8 名	18 名	2 名	28 名
24	新潟県糸魚川市西海地区	平成 29 年 3 月 18 日	2 名	53 名	1 名	56 名
25	新潟県胎内市旧黒川村地区	平成 29 年 3 月 18 日	6 名	50 名	0 名	56 名
26	岩手県雫石町	平成 29 年 3 月 19 日	7 名	9 名	5 名	21 名
27	滋賀県大津市伊香立地区	平成 29 年 3 月 19 日	2 名	9 名	0 名	11 名
28	島根県吉賀町柿木地区	平成 29 年 3 月 19 日	2 名	23 名	1 名	26 名
29	岩手県盛岡市玉山村地区	平成 29 年 3 月 20 日	5 名	8 名	6 名	19 名
30	岩手県釜石市根浜地区	平成 29 年 3 月 21 日	1 名	5 名	1 名	7 名
31	岩手県紫波町赤沢地区	平成 29 年 3 月 22 日	0 名	10 名	0 名	10 名
32	長崎県五島市三井楽地区	平成 29 年 3 月 22 日	12 名	37 名	0 名	49 名
33	岩手県滝沢市元村北地区	平成 29 年 3 月 23 日	1 名	14 名	1 名	16 名
34	京都府舞鶴市岡田中地区	平成 29 年 3 月 25 日	9 名	2 名	4 名	15 名

■ 各地に派遣されたアドバイザー

石原 達也 特定非営利活動法人みんなの集落研究所代表執行役

石本 貴之 認定特定非営利活動法人新潟 NPO 協会理事・事務局長

板持 周治 雲南市役所政策企画部地域振興課主査

大滝 聡 特定非営利活動法人まちづくり学校代表理事

川北 秀人 IIHOE（人と組織と地球のための国際研究所）代表

北村 隆幸 特定非営利活動法人せき・まちづくり NPO ぶうめらん代表理事

斎藤 主税 特定非営利活動法人都岐沙羅パートナーズセンター理事・事務局長

作野 広和 島根大学教育学部教授

菅原 賢一 特定非営利活動法人秋田県南 NPO センター理事

鈴木 信之 高根フロンティアクラブ会長

高橋 由和 特定非営利活動法人きらりよしじまネットワーク事務局長

宝楽 陸寛 特定非営利活動法人 SEIN 事務局長

宮崎 道名 株式会社カントリー・ラボ代表取締役

八嶋 英樹 特定非営利活動法人秋田県南 NPO センター

吉戸 勝 ランドブレイン株式会社地方活性化グループチーム長

米山 哲司 特定非営利活動法人 M ブリッジ理事長

(敬称略・五十音順、所属・役職は派遣当時)

本書の構成

本テキストは、自治体の担当職員が、主に地域住民に対して小さな拠点・地域運営組織に関する普及啓発活動を実施する場面を想定し、具体的な会議の開催方法や研修プログラムなどについて学べるよう、各地での実践に基づくアイデアを中心にとりまとめた手引書となっています。

地域住民に対して小さな拠点づくり・地域運営組織づくりの必要性を訴えかけ、その実現を支援していく第一歩として、まず、地域住民に当事者意識を持ってもらうためのきっかけとなるような研修を行うことが有効です。研修にあたっては、地域の現状及び将来像に関する住民の意識や理解の度合い、現時点での地域活動の取組状況などに応じて、さまざまな研修内容を組み合わせていくことが重要です。

本テキストでは、これらのうち初動期の支援として、

- ▶ **地域住民等が、「こういう取組ならば、自ら取り組みたい、みんなで取り組みたい」と、小さな拠点づくり・地域運営組織づくりの取組を「じぶんごと」として捉えること**
- ▶ **地域の課題解決に必要な取組をみんなで考え、多くの住民で取り組んでいこうとする機運を高め、担い手を育成・確保していくこと**
- ▶ **当該取組を支援すべき市町村の所管課職員、並びに支所・地域担当職員にも、地域住民とともに考え、取り組んでいこうとする意識を強めてもらうこと**

を目標に、実施が有効と考えられる研修プログラムを掲載しています。

また、本テキストは、市町村職員が地域住民に対して普及啓発を図る際はもちろん、都道府県職員から市町村職員に研修会や説明会を実施する際、中間支援組織等が地域住民や地域団体に勉強会をする際にも役立つプログラムとなっております。

「じぶんごと化」と行政による働きかけの重要性

(1) 「じぶんごと化」の重要性

わが国は人口減少社会に突入し、今後も加速度的に人口減少が続いていくと推計されています。中でも、年少人口や生産年齢人口の減少が顕著であり、日常生活における活力の停滞ばかりか、経済活動の低迷によって行政活動の財源となる税収の減少も危惧されています。

一方、高齢者の増加に伴う社会保障費の増大は依然として留まるところを知らず、また、高度経済成長期に整備した公共施設などの都市インフラが更新時期を迎える等、行政歳出面でも非常に厳しい状況にあります。

このような中、地域社会において、現在発生している課題の解決や今後予見されている不安の未然防止について、すべて行政が対応することは困難であり、地域の資金や人材を有効に活用しつつ、地域住民が主体となって地域の暮らしを支える活動を行う取組を促進していく必要があります。

また、市町村合併を経て、同じ自治体内であっても、都市的地域と中山間地域など様々な特性を有する地域が併存し、地域の課題が各地域で大きく異なるような状況も増えていることを踏まえれば、各地域の状況に即した課題解決を図る上でも、自治体で各地域に一律の支援策を実施するのではなく、地域住民の主体的な取り組みを促していくことが重要です。

地域住民が主体的に取組を展開していくためにまず必要となることは、何よりも当事者意識、すなわち、「地域課題の解決や不安の解消は“わたし自身・わたし達”が取り組むべきこと」という「課題解決のじぶんごと化」の意識であり、この意識を住民同士で共有することです。

(2) 「じぶんごと化」の職員等による促進の重要性

各地において「市民と行政の協働」が唱えられて久しいですが、行政が市民に対して協働を働きかける際、どのような行動をとられているでしょうか。

「じぶんごと化」してもらい、それを行動に移してもらうためには、大きくは、①地域住民の動機づけ・モチベーションの向上と、②行動にあたっての障壁の除去・低減化の2つのことを行うより他にありません。

特に、①に関しては、地域住民



の一人ひとりが異なる志向性を持っていることから、モチベーションは一筋縄では上がっていきません。

これらのモチベーションを上げる要素のうち、「使命感の引き上げ」のためには、地域環境の厳しさをつぶさに把握し、そこにある地域の危機を乗り越えていくのは「私（もしくは私たち）である」と強く認識してもらわねばなりません。

では、地域住民等に「じぶんごと」と認識してもらうために、行政職員等はどのようにして促し、影響を与えていくべきでしょうか。

社会心理学では、他の人々の行動に影響を与える能力を「社会的勢力」と呼び、大きく分けて6つの勢力があるといわれています。

■人々の行動に影響を与える6つの「社会的勢力」

種類	内容
報酬勢力	報酬を与える能力を基礎とした勢力。金銭の報酬だけでなく心理的な報酬も含まれる。【おたがいさま・貸し】
強制勢力	罰を与えることができる勢力。
正当勢力	特定の役割についての人の指示に従うべきだ、という理解を共有している人に対して働く勢力。【肩書】
専門勢力	専門的で正しい知識を持っているはずだ、という影響を与えることができる勢力。【知識と経験】
準拠勢力	その人のようにになりたい、という影響を与えることができる勢力。【人当たり・気遣い】
情報勢力	選択肢そのものが持つ情報によって、受け手が持つ認識によって決まる勢力。【広い信頼性のある情報・ネットワーク】

「科学事典」ホームページを一部編集

これらのうち、上の3つ（報酬勢力、強制勢力、正当勢力）は強固な組織が成立しているときに発揮される勢力であると捉えられることから、小さな拠点づくり・地域運営組織づくりの取組について「じぶんごと化」に向けた影響を与えていくためには、下側の3つの勢力（専門勢力、準拠勢力、情報勢力）を発揮していくことが重要と考えられます。本研修テキストは、「専門勢力」と「情報勢力」のスキルアップを目的としています。

自治体や中間支援組織の担当者には、地域住民に対して、小さな拠点づくり・地域運営組織に関する専門的知識や、地域の状況に対する正確な情報を伝えるとともに、各地の優良な取組事例に関する情報や、中間支援組織や各種専門家とのネットワークを活用することで、地域住民による地域課題の「じぶんごと化」をのための働きかけを行っていきことが求められています。

小さな拠点・地域運営組織の形成に向けた研修プログラム

小さな拠点・地域運営組織の形成に向けたアプローチとして、以下の3つの研修プログラムを用意しました。

研修にあたっては、地域住民が有する知識・情報の状況や活動の熟度などに応じて、それぞれのプログラムを組み合わせるようにしましょう。

アプローチ 1 現実直視のプログラム

“人口が減ってきて、なんとなく活力がなくなってきた”、“今後も人口減少・高齢化が進むだろうから、なんとなく不安”といった曖昧な現状認識に対して、データなどを用いて現実や将来の「厳しさ」を数値やわかりやすい指標で伝えることで強い危機感を生み出し、それを原動力に「じぶんごと化」を促すもの。

アプローチ 2 取組事例提示のプログラム

小さな拠点・地域運営組織、という言葉では具体的な取組やその必要性が理解しづらかったり、人によってイメージ・解釈が異なることから、近隣の地域や全国の取組事例について理解し、受講者同士での“この事例のようなことをしていきたいね”という共通認識を原動力に「じぶんごと化」を促すもの。

アプローチ 3 議論による意識高揚のプログラム

地域の実情に応じて、小さな拠点づくり・地域運営組織の取組として展開すべきもの、展開したいものについて地域住民で議論を行い、必要な取組の絞り込みや具体的な進め方について話し合うことを通して、担い手の確保と意識・意思の統一化を図り、“みんなの思い”を原動力に「じぶんごと化」を促すもの。

※地域住民の意識が高まり、担い手や中心メンバーが見出されてきた段階では、

- 地域運営組織の法人化の検討
- 各々の事業の進め方
- 担い手の育成方法
- 各々の事業の収益性の向上
- 税務・労務の対策

など、本書に掲載したプログラムから、更に発展した内容の研修が必要になってきます。